

QOL向上のために見つけたい

かかりつけ婦人科

TOPICS

〔対談〕

太田郁子先生

(太田郁子ウィメンズクリニック院長)



日経xwomanアンバサダー

かかりつけ医のメリットと
クリニック選びの
ポイントは

女性1000人に
聞きました!

婦人科・
産婦人科に関する
意識調査



QOL向上のために見つけたい かかりつけ婦人科

婦人科系疾患の予防や早期発見はもちろん、月経トラブルや更年期特有の不調の緩和など、
かかりつけ婦人科を持つメリットは数多くあります。選び方のポイントなどについて
日経xwomanアンバサダー2人が、婦人科医の太田郁子先生に教わりました！

オンライン 座談会開催！

優しい医師に助けられています



江崎 麻里奈さん
(36歳)

日経xwomanアンバサダー。キャリアアドバイザー。2021年に第一子を出産。妊娠中から通い始めた婦人科の女性医師が現在のかかりつけ医に。

婦人科医との相性も大切です！



西 史織さん
(31歳)

日経xwomanアンバサダー。女性のヘルスケアに関わる事業を手がける会社「ステルラ」CEO。かかりつけ婦人科選びにおいて特に重視しているのは立地。転職や引越により、今まで通院した婦人科は10軒以上にのぼる。

かかりつけ婦人科の ココが頼れる

- ✓ 継続して通うことで女性特有の体の変化に早く気づいてもらえる
- ✓ 婦人科系の疾患に限らず、日常のささいなマイナートラブルも気軽に相談できる
- ✓ 婦人科系以外の病気の可能性がある場合、他科へアクセスしやすくなる

「婦人科領域の医療において日本は、発展途上国」と話すのは、欧米の婦人科医との交流が多い、太田郁子ウィメンズクリニック院長の太田郁子先生。「先進国である欧米諸国では、従来の妊娠・出産や症状の治療をベースにした医療から大きく転換し、症状が出る前から病気の予防策へ対処する方向へと進んでいます。初潮を迎えた半年後に遺伝的な体質や将来の子宮体がんリスクなどを調べ、体質に応じた対処をすることから始まり、更年期近くには骨粗しょう症も診察。動脈硬化などのリスクがあれば適宜専門医につないだ

婦人科は女性の健康窓口に
予防医療の観点からも対処

自分の体を知り、
最適な
ケアや治療を
していきましょう

「自分に合ったケア」
太田先生は、「体は一人ひとり違うもの。自分のホルモン環境に合ったケアをすることで、毎日を快適に少し得をして生きることができると、かかりつけ婦人科を持つメリットを挙げる。日経xwomanアンバサダーの江崎麻里奈さんも「妊娠・出産を機にかかりつけ医を持つようになった今では、産後の尿もれといった日常のマイナートラブルなどにも相談に乗ってもらえるので安

りと、女性特有の健康を生涯にわたってトータルサポートする、女性医療が発展しているのです」（太田先生）

心感があります」と重要性を実感している。「日本人女性はとても我慢強く、相談するのが苦手な傾向がありますが、小さなトラブルと考えることもまずは受診して、自分の体と向き合ってほしいですね（太田先生）
一方、「QOL向上のために20歳からピルを服用するようになりましたが、ピル否定派の医師に心ないことを言われたことも。かかりつけ婦人科を見つける難しさを感じています」と話すのは、同じくアンバサダーの西史織さん。新しい医療や薬の助言をしてくれるような頼れるかかりつけ医との出会い方について、太田先生は「何軒かの婦人科を受診してみ、相談しやすい医師を見つけるのも一考。

太田郁子ウィメンズクリニック 太田郁子先生

医学博士・日本産科婦人科学会産婦人科専門医。日本骨粗鬆学会 認定医。日本大学大学院生理系発生生殖学修了。すべての女性の女性としての特徴を小児から閉経後までサポートする「女性医療」のクリニックを2022年に設立。最先端の設備のもと、婦人科疾患や月経、更年期、不妊治療、ワクチン接種など幅広く手がける。



女性1000人
に聞きました！

婦人科・産婦人科に関する意識調査

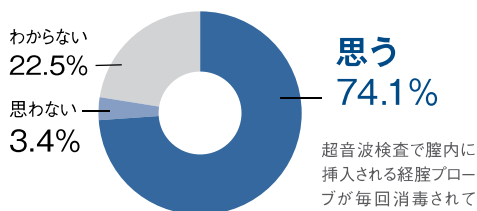
知ってた？ 欧米との違い

【欧米のガイドライン】

経膣プローブを1回使用すること
に完全な殺菌(高水準消毒)を行ったうえで、
プローブカバーを使う

日本では経膣プローブの
殺菌・消毒は定められておらず、
プローブカバーの使用のみ
推奨されている

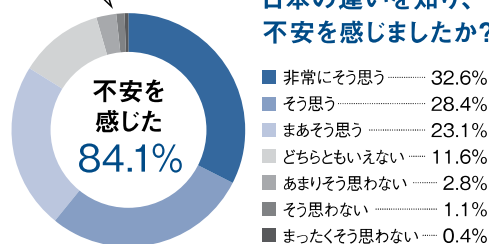
経膣プローブは毎回 「洗浄・殺菌・消毒されている」と思いますか？



超音波検査で膣内に
挿入される経膣プローブが
毎回消毒されていると思っ
ている人は74.1%。欧米
ガイドラインと日本の違い
を知り、不安を感じた人は
84.1%に及ぶ。

「日本の医療環境は世界一
清潔」だと思い込んでいたの
で正直ショック！患者側も
積極的に情報収集
していきたい(江崎さん)

欧米ガイドラインと 日本の違いを知り、 不安を感じましたか？



消毒されていないと通院したくない 医療機器や設備は？

第1位 経膣プローブ 76.3%

消毒されていないと通院したくないと思う医療機器の上位5位は、お
なかにあてる超音波エコー検査機器(5位)、診察台(4位)、組織採
取のための機器(3位)、医師・看護師・検査技師の手指と使用する
手袋(2位)となり、トップは経膣プローブで76.3%を占めた。感染対
策がしっかり行われているかどうか、かかりつけ婦人科を選ぶ際の重
要なポイントのひとつといえそうだ。

調査期間：2023年2月28日～3月5日／調査対象：今までに「婦人科、産婦人科(不
妊治療を含む)」に通院したことがある20～50代女性1000人が対象／調査主体：ナ
ソニックスジャパン株式会社／調査委託先：株式会社インテジヘルスケア

誰にも相談できず「我慢」が
当たり前になっている女性も多い。
かかりつけを持つことで
自分の体を理解し、生活の質を
上げていきたい(西さん)

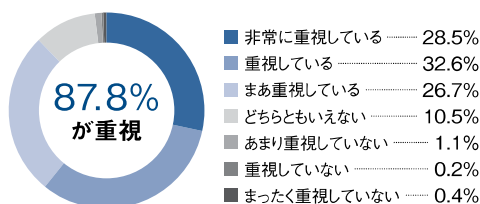
かかりつけ婦人科がありますか？

ない
56.3%

かかりつけ
婦人科を
持つ人は
半数以下

ある
43.7%

婦人科を利用する際に、医療機器の 消毒をどの程度重視しますか？



「かかりつけ婦人科」とは、婦人科、産婦人科
(不妊治療を含む)系の健康に関することを
何でも相談でき、必要な時には専門医、専
門医療機関を紹介してくれる、継続的に利用
している婦人科系の病院のこと。20～50代
の女性1000人のうち、過半数以上の56.3
%がかかりつけ婦人科を持っていないとい
う結果に。また、婦人科利用の際に医療機
器の消毒を重視している人は87.8%とな
った。

クリニックのホームページに記載さ
れている医師のプロフィールや所属
学会などもヒントになります」とアド
バイス。「つい立地やオンライン予約
などの利便性で選びがち」(西さん)
という婦人科だが、早期発見・早期治
療のためには外来の医療機器や設備
の充実度も重要だという。

**院内の清潔さや
衛生管理にも注目**

「妊婦検診時は特に院内の消毒状
況や清潔さが気になった」(江崎さ
ん)、「肌にあたる場所や診察椅子
が消毒されているか、機器が新しい
かなどを知りたいが、カーテンでよ
くわからないことが多い」(西さん)
というように、院内の衛生管理に対
しても注目度が高そうだ。実際、女
性1000人に対する「婦人科・産
婦人科に関する意識調査」でも、医療
機器の消毒を重視する人が87.8%
と高い結果に(上グラフ)。

院内の消毒状況に関して、「たと
えば経膣超音波検査に用いる経膣プ
ローブは、欧米各国では患者ごとに
高水準消毒を行ったうえで、プローブ
カバーを使用することが推奨されて
いますが、日本ではプローブカバー使
用を推奨(※1)するのみにとどまっ
ています」(太田先生)と聞き、「清潔
なものだと思い込んでいたので
ショック」(西さん)、「欧米との違い
などまったく知らず、何の疑問も持た
ずに受け入れていた」(江崎さん)と
アンバサダーふたりが動揺が走った。

そもそも国際的な学会(※2)が
「患者ごとに経膣プローブを消毒す
べき」と提言するのは、プローブを介
したHPV(ヒトパピローマウイル
ス)などの感染を防止するため。「か
つて、胃カメラ後急性胃炎という言
葉があった通り、医療機器を介した
感染リスクは無視できません。HP
Vは子宮頸がんの原因ウイルスで
す。将来的ながんのリスクを防ぐた

めにも、患者さんごとの経膣プロー
ブの消毒は欠かせないと私は考えて
います。当院では専用の消毒機器を
導入していますが、医療現場から積
極的に変わっていく必要があります
ね」(太田先生)

座談会を通し、アンバサダーふた
りには大きな発見があったよう。「自
分自身も発展途上マインドだったこ
とを痛感。知識をアップデートして、
かかりつけ医の選択につなげていき
たいです」(西さん)。「予防医療とい
う観点の大切さがよくわかりまし
た。婦人科のかかり方をみんなで変
えていけるといいですね」(江崎さ
ん)。「自分に合った方法でケアする
ためにもまずは婦人科を受診して
しっかり調べてほしい。自分の健康
のために、もっと欲張りになって！」
と太田先生はアドバイスを送った。

※1 日本超音波医学会 機器及び安全に関する委員会
※2 世界超音波医学士医学術連合(WFUMB)、
国際産婦人科超音波学会(IUSOG等)



ナノソニックスジャパン株式会社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-3 やまとビル8F
カスタマーサポートセンター TEL: 03-6772-8080 (平日 9時～17時)
www.nanosonics.jp

